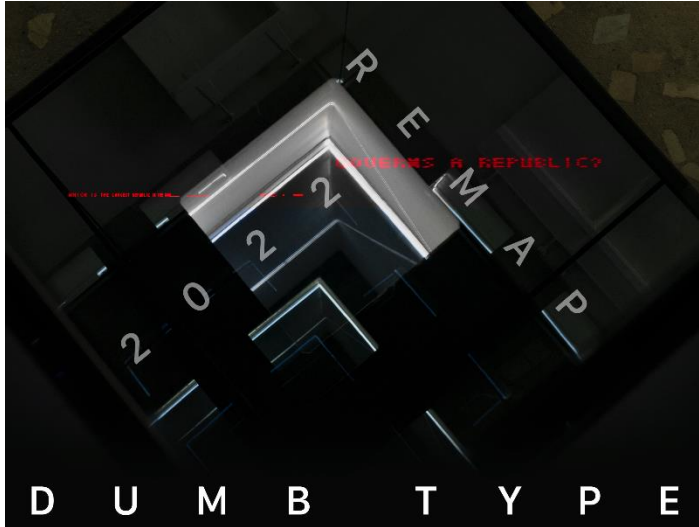


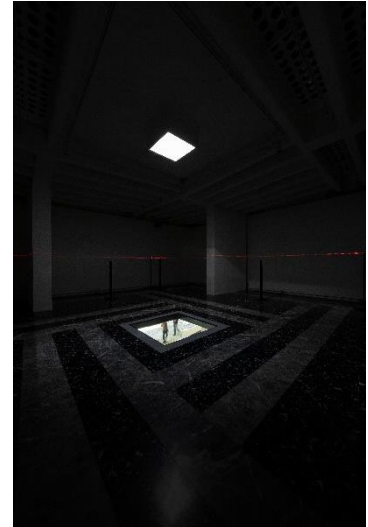
第59回ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展日本館展示帰国展開催

「ダムタイプ | 2022: remap」

～のべ56万人が訪れた作品をアーティゾン美術館で再配置展示～



「ダムタイプ | 2022: remap」展 キーボードビジュアル

ダムタイプ《2022》 撮影：高谷史郎
©ダムタイプ 提供：国際交流基金

国際交流基金（JF）と公益財団法人石橋財団アーティゾン美術館（東京都中央区）は、2023年2月25日（土）から5月14日（日）にかけて、第59回ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展帰国展「ダムタイプ | 2022: remap」をアーティゾン美術館で開催します。本展は、2022年に第59回ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展の日本館に出展されたダムタイプの作品《2022》を、アーティゾン美術館の展示空間に合わせて再配置した展覧会です。

1895年に始まり、もっとも古い歴史をもつ国際美術展であるヴェネチア・ビエンナーレは、国際的な美術の動向が見える重要な展覧会として、今なお特別な存在であり続けています。日本のアート・コレクティブの先駆けとして国内外で活躍を続けるダムタイプが、坂本龍一氏を新メンバーに迎え発表した新作《2022》。本作は、2022年のヴェネチア・ビエンナーレ会期中、のべ56万人を越える観客が訪れ高い注目を集めました。

「2022」は、吉阪隆正設計によるヴェネチア・ビエンナーレ日本館の特徴を活かしたサイト・スペシフィックなインスタレーション。ダムタイプが自作したデバイスから発せられるレーザーと音が、インターネット空間を基調としたコミュニケーションのあり方に問いを投げかけました。本展の会場となるアーティゾン美術館において、どのようにこの作品が再現され、また再配置されているのか、ぜひお楽しみください。

記

■アーティストプロフィール

ダムタイプ

ビジュアル・アート、映像、コンピューター・プログラム、音楽、ダンス、デザインなど、様々な分野の複数のアーティストによって構成されるグループ。1984年の活動開始以来、集団による共同制作の可能性を探る独自の活動を続けて

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 広報部（広報担当：熊倉、原田）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044

E-mail: press@jpf.go.jp

きました。特定のディレクターをおかず、プロジェクト毎に参加メンバーが変化するなど、ヒエラルキーの無いフラットでゆるやかなコラボレーションによる制作活動は、既成のジャンルにとらわれない、あらゆる表現の形態を横断するマルチメディア・アートとして内外で紹介されています。

これまでに発表した作品は、メルボルン国際芸術フェスティバル、香港藝術節、バービカン・センター（ロンドン）、新国立劇場（東京）、国際モダンダンス・フェスティバル（ソウル）、リヨン現代美術館、アテネ・コンサートホール、シンガポール芸術祭、シカゴ現代美術館、アムステルダム市立劇場など、世界中のフェスティバルや美術館で数多く上演／展示されています。2018年には、個展「DUMB TYPE | ACTIONS + REFLECTIONS」が、ポンピドゥー・センター・メッス（フランス）で、その後2019年から2020年にかけて東京都現代美術館で開催されました。2020年3月には、新作パフォーマンス《2020》をロームシアター京都で制作。2022年5月6日から9月11日までハウス・デア・クンスト（ミュンヘン）で個展が開催されました。

プロジェクトメンバー：高谷史郎、坂本龍一、古舘健、濱哲史、白木良、南塚也、原摩利彦、泊博雅、空里香、高谷桜子

声：David Sylvian、竹内真里亜、カヒミ・カリイ、ニキ

フィールド・レコーディング（2022年 Haus der Kunst の「ダムタイプ展」で展示された、坂本龍一ディレクションによるインスタレーション《Playback》のために録音された音源）：

YAN Jun（北京）、Crosby BOLANI（ケープタウン）、Apichatpong WEERASETHAKUL（チェンマイ）、Kali MALONE & Stephen O'MALLEY（ラ・トウール＝ド＝ペ）、Mukul PATEL（ロンドン）、John WARWICKER（メルボルン）、Martin HERNANDEZ（メキシコシティ）、Giuseppe LA SPADA（エトナ火山）、Damian LENTINI（ミュンヘン）、Alec FELLMAN（ニューヨーク）、Andri Snær MAGNASON & Kaška PALUCH（レイキャビク）、Jaques MORELENBAUM（リオデジャネイロ）、Atom Heart（サンティアゴ）、CHENG Chou（台北市）、Nima MASSALI（テヘラン）、オノセイゲン（東京）

■開催概要

展覧会名：第59回ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展日本館展示帰国展 ダムタイプ | 2022: remap

主催：公益財団法人石橋財団アーティゾン美術館、独立行政法人国際交流基金

会場：アーティゾン美術館 6階展示室（東京都中央区京橋1丁目7-2）

会期：2023年2月25日 [土] - 5月14日 [日]

開館時間：10:00-18:00（5月5日を除く金曜日は20:00まで）*入館は閉館の30分前まで

休館日：月曜日

入館料（税込）：日時指定予約制

ウェブ予約チケット1,200円、当日チケット（窓口販売）1,500円、学生無料（要ウェブ予約）

*当日チケット（窓口販売）はウェブ予約枠に空きがある場合に販売します。

*中学生以下の方はウェブ予約不要です。

*この料金でアーティゾン美術館で同時開催する展覧会を全てご覧いただけます。

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 広報部（広報担当：熊倉、原田）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044

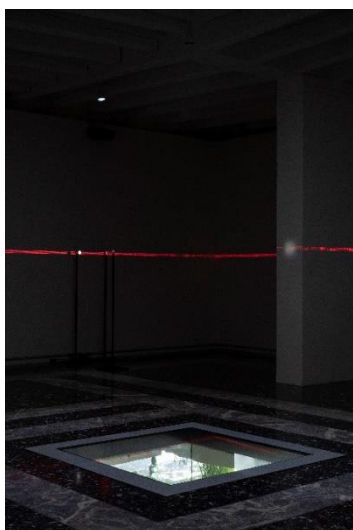
E-mail: press@jpf.go.jp

■ 広報用画像

画像を希望される方は、広報担当の熊倉、原田（press@jpf.go.jp）までご連絡ください。

【ご使用時の注意点とお願い】

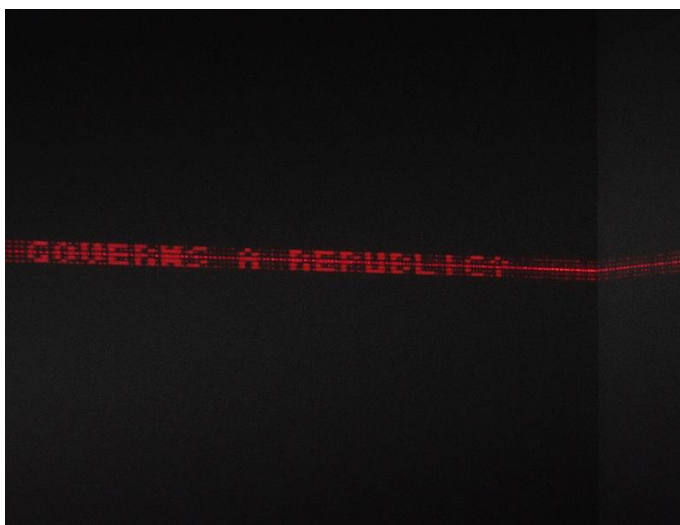
- ・1点のみ掲載の場合はP.1掲載のキービジュアルをお使いください。
- ・画像のご使用は本展の広報目的のみに限ります。
- ・画像の掲載に際しては、作家名、作品名、作品情報及び所定のクレジットを必ず記載してください。
- ・画像の改変（トリミング、部分使用、文字のせ含む）、画像の二次使用はご遠慮ください。
- ・事実関係確認のため、出版前に記事校正を広報担当者までお送りください。
- ・掲載誌または掲載記事を広報担当者までお送りください。



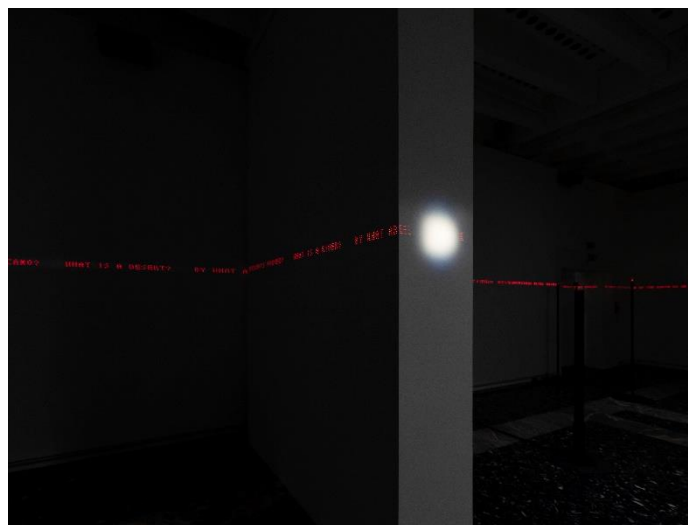
ダムタイプ《2022》 撮影：高谷史郎
©ダムタイプ 提供：国際交流基金



ダムタイプ《2022》 撮影：高谷史郎
©ダムタイプ 提供：国際交流基金



ダムタイプ《2022》 撮影：高谷史郎
©ダムタイプ 提供：国際交流基金



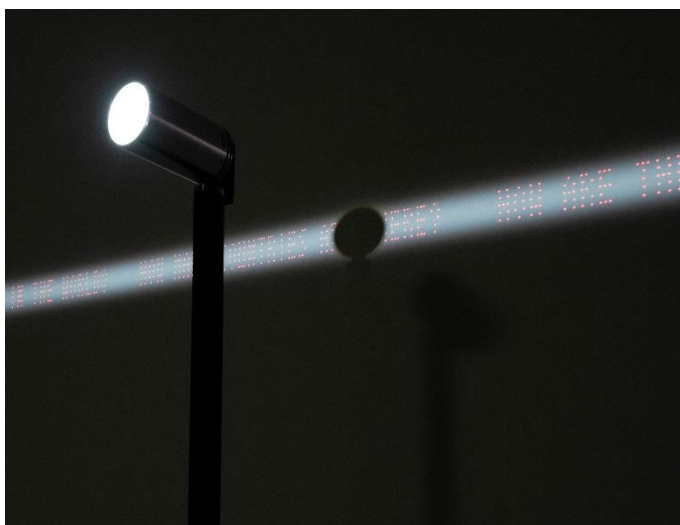
ダムタイプ《2022》 撮影：高谷史郎
©ダムタイプ 提供：国際交流基金

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 広報部（広報担当：熊倉、原田）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044

E-mail: press@jpf.go.jp



ダムタイプ《2022》 撮影：高谷史郎

©ダムタイプ 提供：国際交流基金



ダムタイプ《Playback》 撮影：高谷史郎

©ダムタイプ 提供：国際交流基金



ダムタイプ《Playback》 撮影：高谷史郎

©ダムタイプ 提供：国際交流基金

以上

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 広報部（広報担当：熊倉、原田）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044

E-mail: press@jpf.go.jp